



第3号 (令和8年2月27日)

## 令和7年度 第3回 学校運営協議会を開催

2月6日(金)に、令和7年度 館林市立第三中学校 第3回 学校運営協議会を、三中の図書室で開催しました。学校運営協議会委員、三中職員及び館林市教育委員会の職員が出席し、本年度の成果と課題、及び令和8年度の取組などについて協議しました。

### 令和7年度 学校運営協議会委員 (13名)

青柳区長、館林市スポーツ協会六郷支部長、主任児童委員、西公民館長、三野谷公民館長、館林商工高等学校長、第六小学校長、第七小学校長、第十小学校長、館林市総合福祉センター長、第三中学校PTA会長、第三中学校長、CSディレクター

### 学校運営協議会の内容

- (1) 市教育委員会、校長、会長あいさつ
- (2) 第2回学校評価アンケートの結果について
- (3) 本年度の成果と課題について
- (4) 令和8年度の取組について

### 第2回学校評価アンケートの結果

#### ○評価が低かった項目

| 評価項目                         | 対象者 | 第1回 | 第2回   | 比較    |
|------------------------------|-----|-----|-------|-------|
| 家で、タブレットPC等を使って学習することがありますか。 | 生徒  | 47% | 45.6% | ▲1.4% |

#### ○評価が下がった項目

| 評価項目               | 対象者 | 第1回 | 第2回   | 比較    |
|--------------------|-----|-----|-------|-------|
| 授業を楽しんでいると感じていますか。 | 生徒  | 80% | 77.4% | ▲2.6% |

#### ○評価が上がった項目

| 評価項目   | 対象者 | 第1回 | 第2回   | 比較    |
|--|-----|-----|-------|-------|
| 地域の行事やボランティア活動に進んで参加していますか。                          | 生徒  | 37% | 44%   | +7%   |
| 学校運営協議会を組織し、家庭や地域社会との連携・級力による活動内容を工夫したり、見直したりしていますか。 | 教職員 | 74% | 82.6% | +8.6% |
| 家庭で自主的に学習や読書をする習慣が身に付けられる手立てを行っていますか。                | 生徒  | 78% | 84.3% | +6.3% |
| 将来の夢や希望について考えていますか。                                  | 生徒  | 78% | 89%   | +11%  |
| 将来の夢や希望・卒業後の進路について、家族の人と話し合っていますか。                   | 生徒  | 70% | 80%   | +10%  |

#### ○生徒と保護者で格差のあった項目

| 評価項目                        | 保護者   | 生徒  | 比較     |
|-----------------------------|-------|-----|--------|
| 地域の行事やボランティア活動に進んで参加していますか。 | 89.3% | 44% | ▲45.3% |

#### ○質疑等

- ・タブレットは家に持ち帰っているのか? ⇒持ち帰っている。
- ・低評価の項目は、3年生が受験勉強で忙しくポイントを落としている可能性も考えられる。

## 令和7年度の成果と課題

### ◆ 令和7年度の成果と取組について

- ・第三中学校では、今年度「キャリア教育」に力を入れた。
- ・第2回学校運営協議会では「キャリア教育」についての熟議を行い、この中でキャリア教育を進めるためには、地域と学校の関わり合いが重要であることが改めて分かった。
- ・第三中学校のキャリア教育は、大泉高校と連携した里沼学習、とりせんの方を招いたマナー学習、保護者を招いた職業観・勤労観の理解などの学習を行い、これらを受け、最終的には「職場体験学習」に結び付け、成果を上げている。

### ◆ 令和7年度の課題について

- ・中学校では、部活動や高校受験を控えていることから、小学校に比較し地域学校協働活動を積極的に実施することが難しい面がある。
- ・本市では、地域学校協働本部は、原則、公民館に設置することとなっているが、第三中学校に係る公民館で設置されているのは三野谷公民館のみで、その他の公民館にはまだ設置されていない。
- ・第三中学校に係る公民館は、六郷、三野谷、分福、西、城沼公民館など多くの公民館が関係することから、関係する公民館の連携も課題となる。
- ・また第三中学校には外国籍の生徒も多く、多文化共生も課題となっている。

## 平和8年度取組についての主な意見

### ◆ キャリア教育について

- ・キャリア教育については来年度も引き続き力を入れてほしい。
- ・職場体験学習については、生徒が希望する職場に行けるよう配慮することも必要である。

### ◆ 里沼学習について

- ・三野谷公民館では小学生を対象に世代間交流事業の一環として、「カツモウマづくり」を行っているが、小学生には難しい面もあるので中学生を対象に加えることも良い。

### ◆ 防災教育について

- ・西公民館では地域と連携し毎年防災訓練を行っている。
- ・全国的に震災や風水害も多いので、第三中学校でも防災訓練（教育）に力を入れるべきである。

### ◆ 多文化共生について

- ・第三中学校には、多くの外国人が在籍している。
- ・そこで日本語学級を2学級設置し、外国にルーツを持つ生徒の日本語指導や生活指導を行っている。まずは、日本の文化に馴染んでもらうことが重要であると考えます。
- ・外国人の場合、高校受験でも言葉の壁があり難しい面がある。

### ◆ 地域学校協働本部について

- ・地域学校協働本部は学校に設置するものでなく、本市では公民館に設置することになっている。
- ・第三中学校の区域で地域学校協働本部が設置されている公民館は、現在、三野谷公民館のみであるが、来年度には西公民館にも設置する予定である。
- ・地域学校協働本部の「地域」とはどこを指すのかが不明確。
- ・小学校は公民館数11と一致するため、小学校区を地域学校協働本部の区域ととらえることができる。しかし中学校の場合、1校に多くの公民館と関係していることから連携を取ることが難しい。例えば、第三中学校の場合、六郷、三野谷、分福、西、城沼公民館などの複数の公民館区域を含んでいる。
- ・令和8年度には、全公民館で本部が設置される予定なので、今後は、関係する公民館との連携が必要となる。

### ◆ 校長の総括

- ・キャリア教育や里沼学習については、今後も地域や公民館、高校と連携を図りながら充実させていきたい。